

平成28年度モーダルシフト等推進事業 採択案件事例 国土交通省

北海道薬業運送効率化
協議会

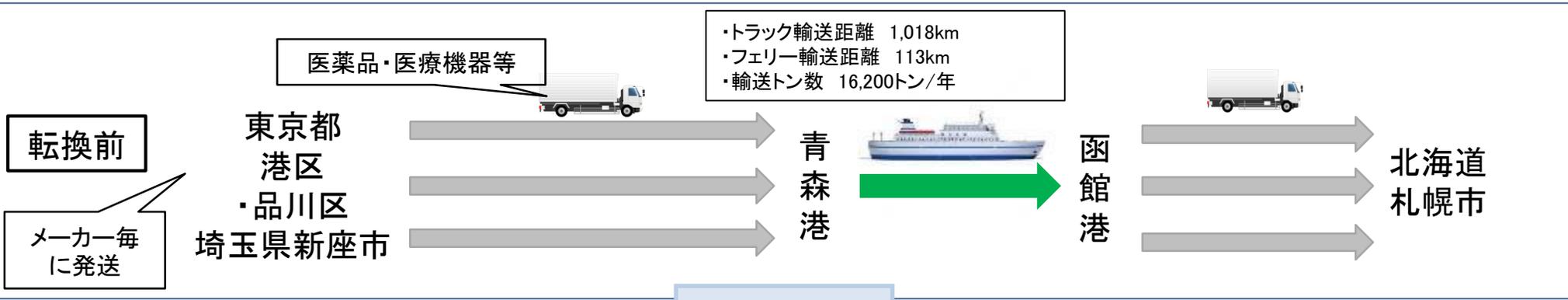
協議会メンバー

三菱倉庫(株)、旭運輸(株)、他医薬品メーカー

事業内容

東京都港区等から北海道札幌市への医薬品・医療機器等の輸送について、トラックから海上輸送に転換する総合効率化計画の策定を行う。

経路



特徴

- 海上輸送へのモーダルシフト
- 港区拠点へ貨物を集約することによる混載輸送・車両の大型化

効果

○CO2排出削減量 2,201 t-CO2 / 年 (68%削減)

平成28年度モーダルシフト等推進事業 採択案件事例 2 国土交通省

革新的コンテナ 「氷感SO庫」の 普及推進協議会

協議会メンバー

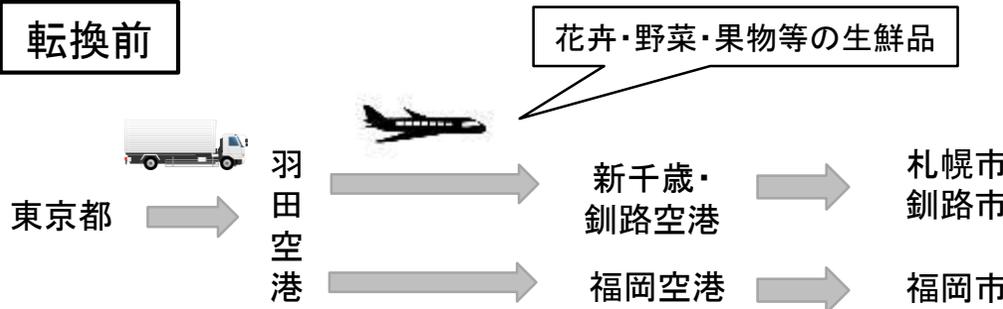
佐川アドバンス(株)、佐川急便(株)、
(株)ジェイアール貨物・南関東ロジスティクス、
日本貨物鉄道(株)、全国通運(株)
(一社)日本事業者団体連合会

事業内容

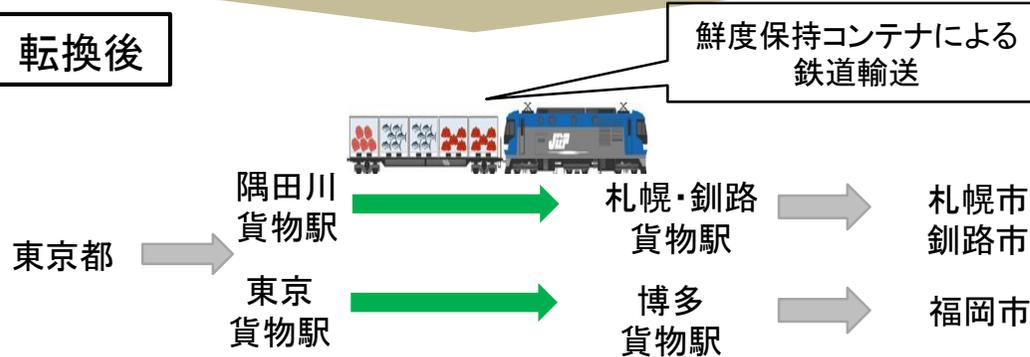
東京都から北海道及び九州への生鮮品の輸送について、航空機等から新技術を活用した鮮度保持コンテナによる鉄道輸送に転換する総合効率化計画の策定を行う。

経路

転換前



転換後



鮮度保持コンテナ“氷感SO庫”

- 鮮度保持機能付き鉄道用12フィートコンテナ
- 氷感システム(※)により、凍らせずに食品などの鮮度を維持して保管と輸送が可能

⇒ 鮮度維持が難しく、これまで鉄道で輸送できなかった生鮮品も、輸送可能になる。

(※) 冷蔵したコンテナ内部に、高電圧・低電流を印加することにより、微生物の増殖を抑え酸化を緩やかにするとともに、凍結点でも凍らせず、食品などの鮮度を維持し長期間保存が可能。



特徴

- 新技術を活用した鮮度保持コンテナによる鉄道輸送

効果

- CO2排出削減量 13t-CO2 (98%削減)

※ 排出削減量は補助対象期間(H29.1.2)の値

平成28年度モーダルシフト等推進事業 採択案件事例 ③ 国土交通省

アサヒ・キリン北陸物流
協議会

実施事業者

アサヒビール(株) / キリンビール(株)
日本通運(株) / 日本貨物鉄道(株)

事業内容

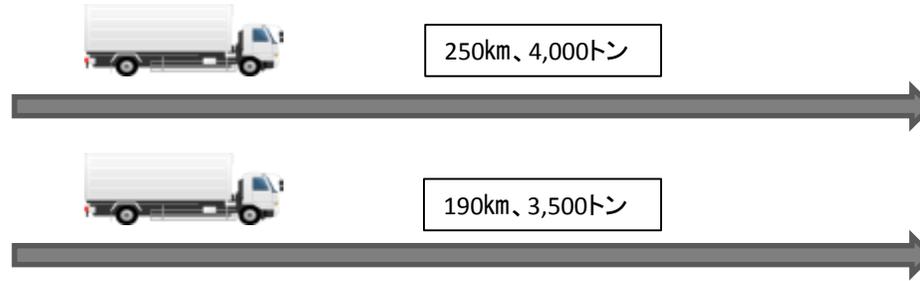
北陸エリアへの飲料輸送について、同業他社(アサヒビール・キリンビール)が連携して、トラック輸送から、鉄道貨物の利用率が低い下り路線の輸送力を活用した共同モーダルシフトを実施する。

実施前

アサヒビール
名古屋工場

キリンビール
名古屋工場

凡例
トラック
鉄道輸送



実施後

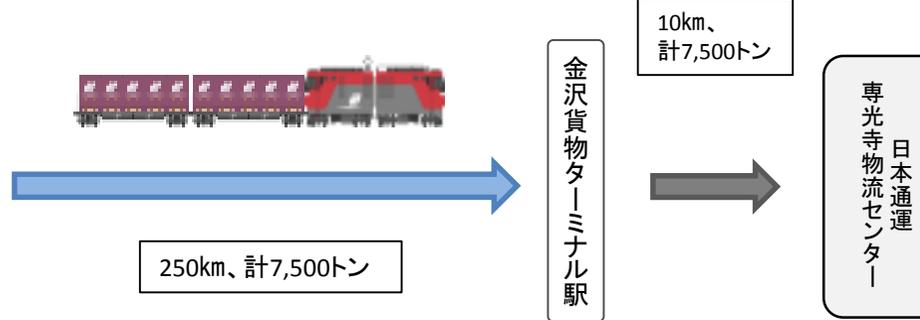
アサヒビール
吹田工場

キリンビール
神戸工場

10km、
計4,000トン

50km、
計3,500トン

吹田貨物ターミナル駅



主な供給工場を関西エリアに変更

北陸エリア行き下り路線の有効活用

共同配送センターの開設

特徴

- 同業他社の連携による共同モーダルシフト
- 大きなシェアを占める企業の協同による啓発性
- 鉄道貨物の利用率の低い下り路線の輸送力の有効活用

効果

- CO2排出削減量 140 t-CO2 (49%削減)
排出削減量はモーダルシフト推進事業の補助対象期間(H29年1月2月)の値。1月16日認定の総合効率化計画では、将来的にキリンビール滋賀工場からの貨物も対象とすることにより、年間で2,700t-CO2の削減を見込んでいる。